

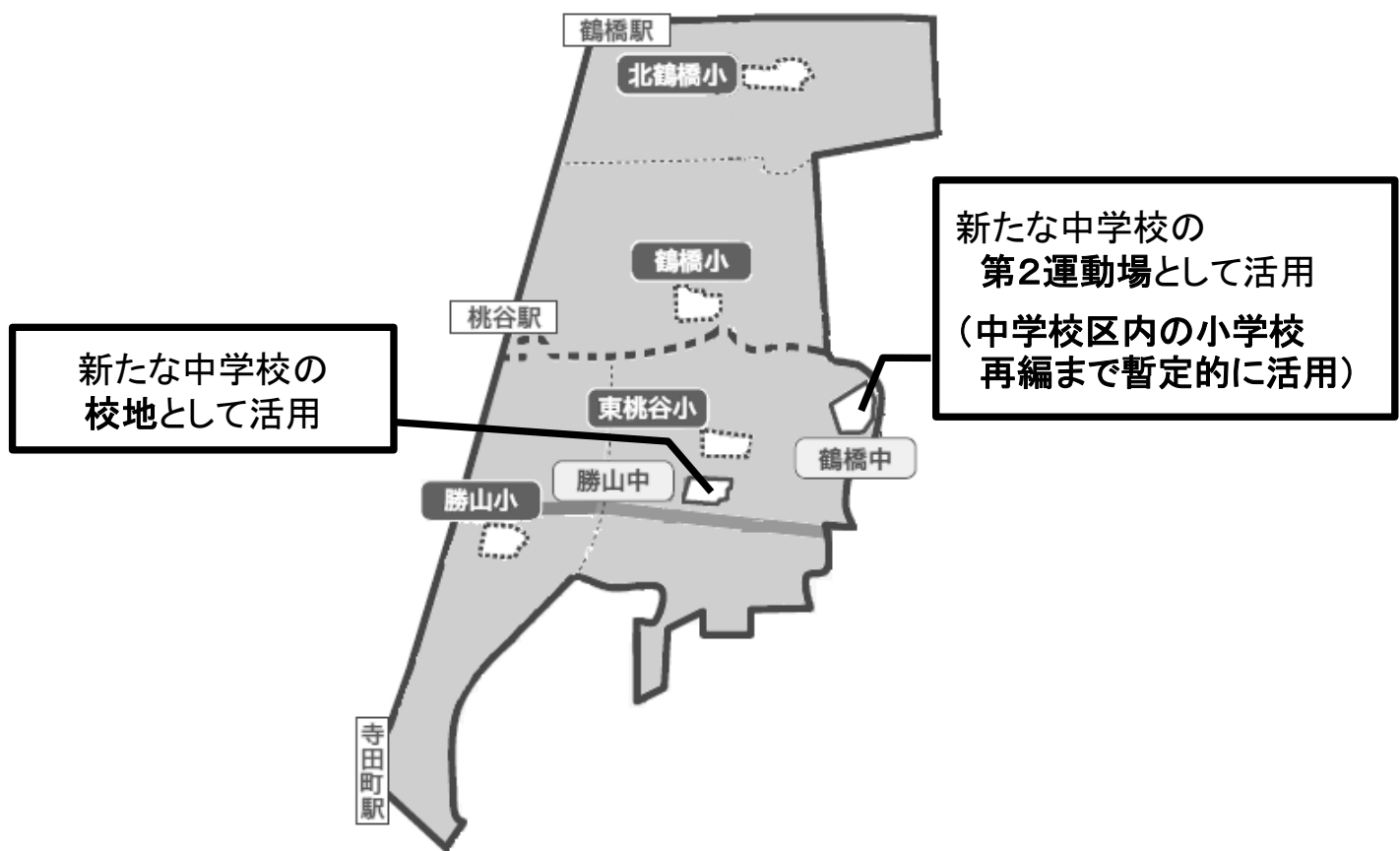
「勝山中学校・鶴橋中学校 学校整備計画（案）」説明会 開催結果のご報告

～生野区西部地域学校再編整備計画の推進～

鶴橋中学校は平成31年度にすべての学年が単学級になると見込まれています。小規模校には、「きめ細かな指導を行いやすい」といった長所もありますが、「集団学習の実施に制約が生じる」といった課題があり、中学校3年間でさまざまな経験・体験ができるよう、教育環境の改善が必要です。そこで、生野区では、勝山中学校と鶴橋中学校を再編し、教育環境の改善を図ることを、喫緊の課題として取り組んでいくこととし、「勝山中学校・鶴橋中学校 学校整備計画(案)、(以下【案】といいます。)」を策定しました。

本紙では、【案】の概要と、【案】に関する説明会(平成29年11月28日、12月4日開催)にていただいた主なご意見・ご質問とその回答をご報告いたします。

(1) 学校配置(案)

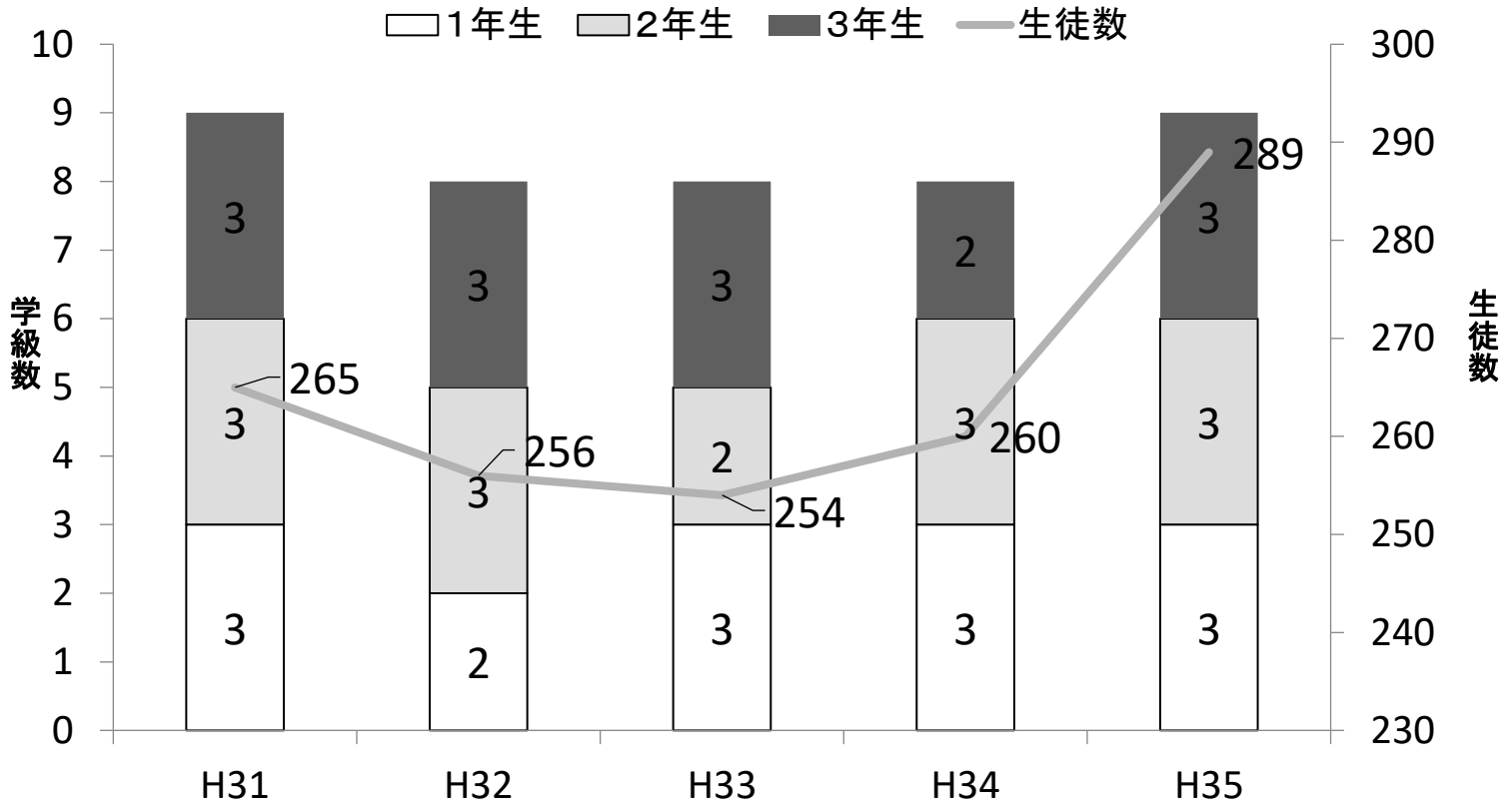


鶴橋中学校と再編する中学校については、隣接する中学校である、勝山中学校、大池中学校が候補でした。どちらの中学校と再編すべきか、さらに再編に際してどの校地を活用すべきか、検討しました。

結果として、再編後の通学の距離(直線距離)が最も短く、最寄の小学校(東桃谷小学校)と隣接するという立地的な利点を活かした高い小中連携効果が期待できる、「もと勝山中学校」に新たな中学校となる「(仮称)A中学校」を設置することをご提案しております。

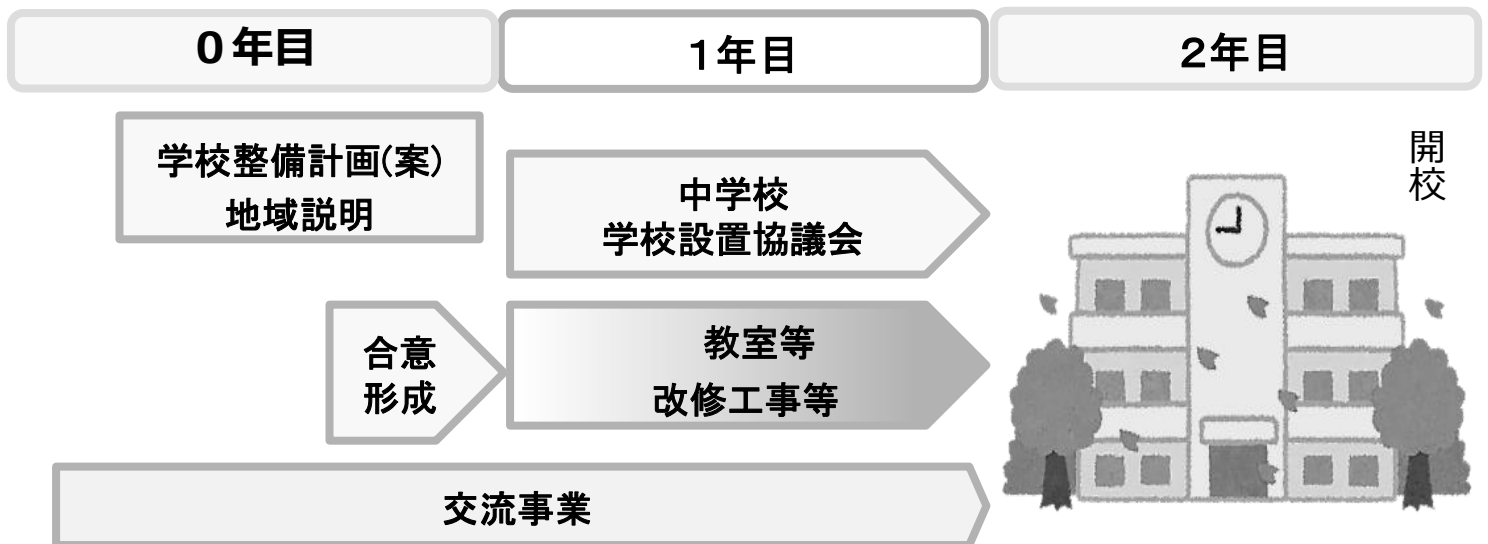
(2) 新たな学校の生徒数・学級数の推移

H30年以降は推計値 (H29.5.1速報値による推計)



再編後の新たな学校の学級数は各学年2~3クラスで推移し、安定的に持続可能な学校規模になる見込みです。

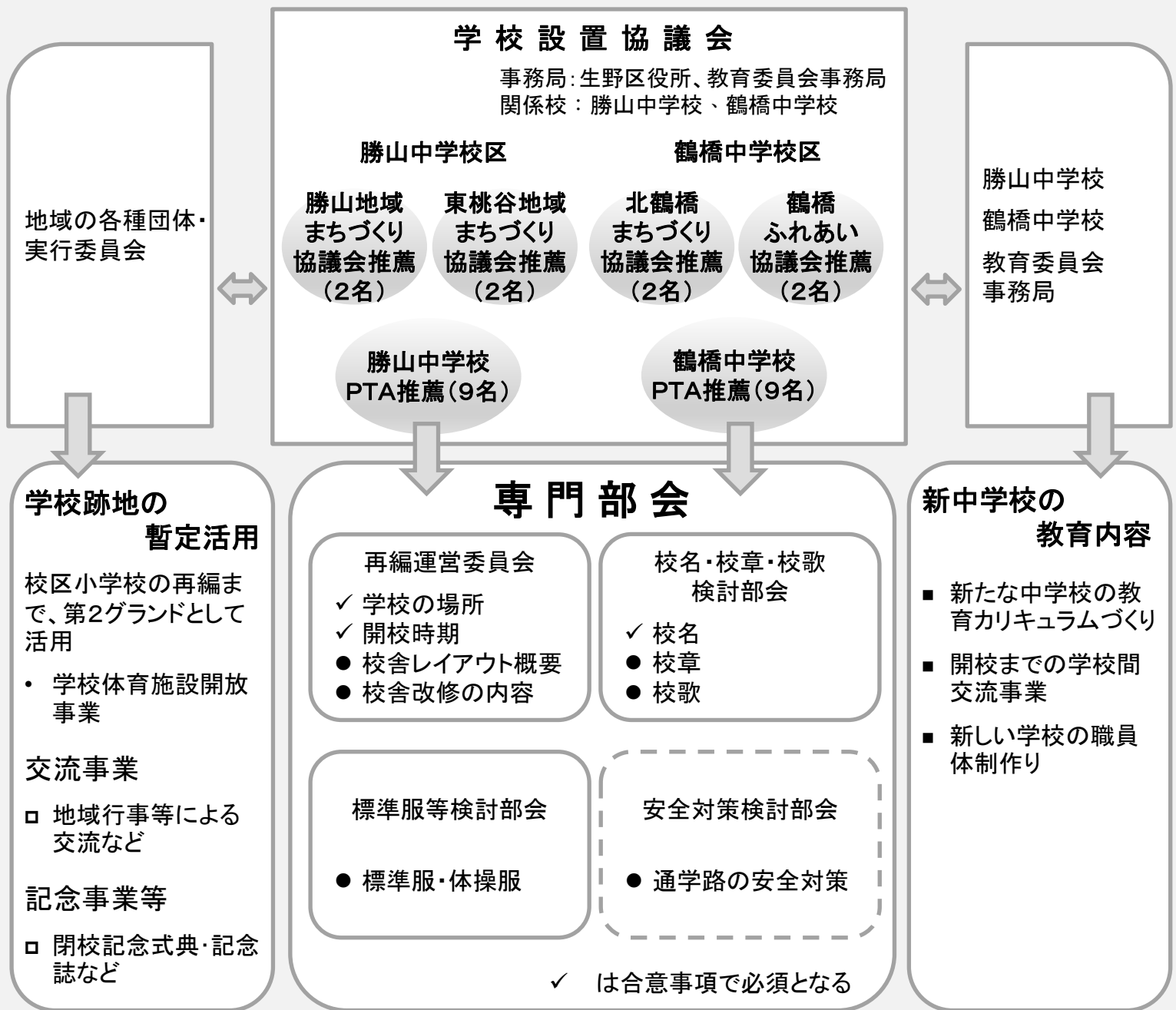
(3) 新たな学校の開校に必要な期間



開校時期については、勝山中学校・鶴橋中学校 学校設置協議会において、子どもたちの最善の利益となることをふまえて、具体的に検討します。新たな学校の改修工事等には、約1年の期間が必要です。最短で平成31年4月の開校が可能となります。

(4) 新たな中学校についての話し合いの場

勝山中学校・鶴橋中学校 学校設置協議会を設けます



※校区小学校の再編に際しては、小中一貫校設置に向けて、改めて学校設置協議会を設ける

学校設置協議会(以下、【協議会】といいます)に関する区からの説明

- ◆ 【協議会】は、新たな学校を設置する上での基本項目について検討する場です。
- ◆ 【協議会】の委員は、まちづくり協議会と、中学校のPTAからご推薦いただいた方で構成します。
- ◆ 新たな中学校の教育内容については、学校、教育委員会事務局で、学校跡地の暫定活用については、地域の各種団体・実行委員会で、別途検討、決定しますが、【協議会】に検討経過等を報告するなどして、情報の共有を図ります。

「協議会」に関する区からの提案

- ◆ 基本項目の検討・決定をより効率的かつ効果的に進めるため、【協議会】に「専門部会」を設けること。

説明会でいただいたご意見・ご質問とその回答

教育内容について

- Q 中学校3年生という受験の時期に、学校再編を迎える生徒に対する配慮は考えているか。また、受験生に限らず、学校再編によって環境が大きく変わるのは生徒の負担になることから、教員配置については配慮がほしい。
- A 学校の再編に伴う生徒の心理的負担を軽減するため、移行に向けての準備として、合同行事等、両中学校の生徒間交流や、教員間研修の実施を検討してまいります。また、新たな学校の教員の配置についても、両校のバランスを配慮します。1クラスあたりの生徒数については、大阪市全体のルールがあるので、1クラスあたり40名という基準を変更することはできませんが、再編による生徒の不安を緩和するため、学校に配置される教員の数について、検討してまいります。

中学校給食について

- Q 新たな中学校でも、近くの小学校で作った給食を食べることはできるか。
- A はい、できます。今後の生徒数の推移を元に、勝山中学校に隣接している東桃谷小学校の給食調理室で、新たな中学校の分の給食も調理できると試算しています。仮に、生徒数が急激に増えるようなことがあった場合でも、近隣の小学校で一部を調理するなど、給食を提供できる環境を整えていきます。

中学校の跡地について

- Q 鶴橋中学校の運動場について、勝山中学校区内と鶴橋中学校区内の小学校が再編されるまでの暫定的な活用のようなのだが、仮に小学校が再編されたら、鶴橋中学校の跡地はどうなるのか。
- A 生野区の小学校跡地は、地域の災害時避難所であることもあり、売却せずに残した上で、その活用方法を議論していく予定です。しかし、鶴橋中学校につきましては、小学校の再編の議論がまとまれば、大阪市の未利用地活用方針に則って、売却手続きをいたします。

【協議会】の設置について

中学校の再編については、平成29年7月に開催した「生野区西部地域学校再編整備計画説明会」において、鶴橋中学校が平成31年に全学年単学級化することを、「早期に解消すべき喫緊の課題」とし、小学校の再編にさきがけて、まずは中学校の再編を推進することをご提案いたしましたとおり、「中学校を再編する」という方向性については、本市として決定してきたものです。

本説明会において、「再編を進めることで両中学校の教育環境の改善に大きな支障が出てくる」といった具体的なご指摘はございませんでしたので、【協議会】を設置し、新たな中学校の再編の時期や場所、校名といった、具体的な項目について、検討、決定してまいります。